

あさひより トマト

# 朝日和あい



- 耐病性(葉かび病)と高品質(硬玉)を両立
- 甘味と酸味のバランス良くおいしい

# トマト あさびより 朝日和あい

甘味と酸味のバランス良くおいしい

## 特徴

### 1. 病気に強い

葉かび病、タバコモザイクウイルス病 (Tm-2<sup>a</sup>型)、半身萎ちょう病、萎ちょう病レース 1、2、根腐れ萎ちょう病、根こぶ線虫、斑点病に抵抗性。

### 2. 草勢は中強

草勢はやや強くスタミナ切れがないため、後半まで果実サイズが大きい。また、花数はやや多く、着果性も良い。

### 3. 果色良く硬玉

果色は濃いピンク色。グリーンベースが薄く、高温期でもへた周りが黄色になりにくい。果肉は硬く軟化玉の発生が少ないため後半まで良品が収穫できる。

### 4. 鬼花少なく果形安定

果形は腰高。花房内の果実サイズがよく揃い、大小が少ない。鬼花の発生・チャック果・空洞果・スジグサレ果も少なく秀品率が高い。

### 5. 食味

甘味・酸味とも強く、味にコクがある。特に中段以降の食味は肉質も良く、とてもおいしい。トマト好きな方に好まれる味。

## 栽培の要点

### 1. 台木

「朝日和あい」に最適な台木は褐色根腐れ病・青枯病に強く、草勢が中庸な「あおおに」。初期から草勢が強くなる台木品種の使用は避ける。

### 2. 育苗・定植

草勢がやや強い品種のため、定植後の樹の暴れを避けることを念頭におく。肥料・水分を控えた「ややしめ作り」を基本とする。定植時期は第1花房第1花開花頃とし、極端な若苗定植は禁物。

### 3. 肥料

追肥重視の施肥管理をする。初期の過繁茂を抑えるため、元肥は有機質肥料などの緩効性肥料を使用し、10a当たり窒素15~18kgを目安とする。追肥は第3~4花房開花時を目安に開始。以降1段置きに行う。生育後半は「朝日和10」より草勢が落ちるため、追肥が遅れないようにする。1回の追肥量は10a当たり液肥で窒素1~1.5kg程度とする。

### 4. 草勢管理

定植直後は灌水を控え、第3花房開花期以降草勢を見ながら灌水する。夜温は9~10℃とし、節間が詰まり草勢が強すぎる場合は夜温を上げる。第1~3花房は着色を促すためにも摘葉し果実を出す。

### 5. 病気

葉かび病の防除は不要だが、灰色かび病を予防するために定期的に薬剤散布する。

## 施肥例【エコファーマー対応】

(10a当たり)

肥料名	元肥	追肥	
有機アグレット6-6-6	250~300kg		有機100%
粒状草木加里	20kg		有機原料由来
はつらつ君6-6-6(液肥)		1回20kg	有機50%

成分量 (kg/10a) 元肥 N:15~18 P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:15~18 K<sub>2</sub>O:21~24

比較表	草勢	早晩性	果形	果重(g)	果色	硬さ	甘味	酸味
朝日和あい	やや強	中	腰高	210	濃桃	硬	中	やや強
朝日和10	強	中	豊円	220	濃桃	硬	中	中

適作型 半促成栽培に最適。促成栽培にも適する。

